



2021年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月9日

上場会社名 株式会社 京進
 コード番号 4735 URL <https://www.kyoshin.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福澤一彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画本部長兼経営企画部長 (氏名) 松本敏照

TEL 075-365-1500

四半期報告書提出予定日 2020年10月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年5月期第1四半期の連結業績(2020年6月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年5月期第1四半期 | 5,784 | 0.8 | 128 | 62.6 | 210 | 40.4 | 73 | 58.6 |
| 2020年5月期第1四半期 | 5,830 | 14.5 | 344 | 17.0 | 352 | 16.1 | 178 | 25.4 |

(注) 包括利益 2021年5月期第1四半期 57百万円 (67.4%) 2020年5月期第1四半期 175百万円 (27.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 2021年5月期第1四半期 | 9.49 | |
| 2020年5月期第1四半期 | 22.94 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円銭 |
| 2021年5月期第1四半期 | 21,612 | 3,650 | 16.9 | 468.91 |
| 2020年5月期 | 23,047 | 3,743 | 16.2 | 480.84 |

(参考) 自己資本 2021年5月期第1四半期 3,650百万円 2020年5月期 3,743百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 2020年5月期 | | 0.00 | | 19.28 | 19.28 |
| 2021年5月期 | | | | | |
| 2021年5月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年5月期の配当につきましては、通期連結業績を見通すことが困難なため、現時点では未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の開示が可能となった段階で、あわせて配当予想を開示いたします。

3. 2021年5月期の連結業績予想(2020年6月1日～2021年5月31日)

2021年5月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を、現時点では適正かつ合理的に算定することが困難なことから「未定」としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2021年5月期1Q | 8,396,000 株 | 2020年5月期 | 8,396,000 株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

期末自己株式数

| | | | |
|------------|-----------|----------|-----------|
| 2021年5月期1Q | 610,258 株 | 2020年5月期 | 610,258 株 |
|------------|-----------|----------|-----------|

期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2021年5月期1Q | 7,785,742 株 | 2020年5月期1Q | 7,785,742 株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が大きく制限されるなか、企業収益の減少や雇用環境の悪化がみられ、現在に至るまで厳しい経済状況が続いております。今後、経済が正常化に向かうとしても、感染の再拡大の状況によっては先行きに再び不透明感が強まることが予想されます。

当社グループにおいては、長期的に発展し、時代の流れと社会の要請に対応するため、積極的な事業領域の拡大を行っており、当社グループを安定的に支える教育サービスにとどまらず“人の一生に関わる「一生支援事業」を展開する企業へ事業の拡大をすすめております。学習塾事業、語学関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響は比較的大きく受けましたが、保育・介護事業においては影響は限定的なものとなりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は5,784百万円（前年同期比0.8%減）となり、前年同期に比べ45百万円減少しました。営業利益は128百万円（同62.6%減）となり、前年同期に比べ215百万円減少しました。経常利益は210百万円（同40.4%減）となり、前年同期に比べ142百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（同58.6%減）となり、前年同期に比べ104百万円減少しました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。なお、セグメントの連結売上高には、セグメント間売上高が含まれています。また、セグメント別売上高には、消費税等は含まれていません。

<学習塾事業>

学習塾事業においては、感染症拡大防止のための休講の影響で、春先の入室生は大きく減少したもののオンライン授業など代替の施策を展開し、経営成績への影響を最小限にとどめることができました。当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、売上高2,949百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益769百万円（同1.2%減）と減収減益となりました。

<語学関連事業>

英会話事業においては、国内の英会話教室は感染症拡大防止のための休講の影響で入室数が減少していましたが、2020年6月以降の入室は前年同期並みに回復いたしました。オーストラリアの英会話学校は留学生が入国できないことから入室数が減少しておりますが、2020年秋以降に回復することを想定しております。日本語教育事業においては、2020年3月より留学生が日本に入国できなかったことが影響して伸びは鈍化いたしました。2020年10月より留学生の入国が可能となり、今後は回復を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、顧客数の減少により売上高549百万円（同32.8%減）となり、セグメント損失206百万円（前年同期に比べ117百万円の損失増加）となりました。

<保育・介護事業>

保育事業では、2020年8月にHOPPA津田沼ザ・タワー園をあらたに開園し、当社グループ及び連結子会社の保育園の園数は88園となりました。当第1四半期連結累計期間のセグメントの経営成績は、顧客数の増加により、売上高2,285百万円（前年同期比16.9%増）となりましたが、2020年の開園による人件費、減価償却費、採用費の増加が、売上高の増加を上回り、セグメント損失163百万円（前年同期に比べ163百万円の損失増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、21,612百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,434百万円減少しました。流動資産は、4,828百万円となり1,632百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少2,145百万円、売掛金の増加454百万円等です。固定資産は16,784百万円となり、前連結会計年度末に比べ198百万円増加しました。有形固定資産は、12,120百万円（前連結会計年度末に比べ258百万円増加）となりました。主な要因は、リース資産の増加412百万円等です。無形固定資産は、2,028百万円（同58百万円減少）となりました。主な要因は、のれんの減少75百万円等です。投資その他の資産は、2,634百万円（同1百万円減少）となりました。主な要因は、繰延税金資産の減少25百万円、敷金及び保証金の増加19百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、17,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ、1,341百万円減少しました。流動負債は、8,025百万円となり1,624百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の減少1,459百万円、未払金の増加131百万円、前受金の減少210百万円、賞与引当金の増加163百万円、その他の減少299百万円等です。固定負債は9,936百万円となり、282百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の減少118百万円、リース債務の増加421百万円等です。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,650百万円となり、前連結会計年度末に比べ、92百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の減少76百万円、為替換算調整勘定の減少19百万円等です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末16.2%から0.7ポイント上昇し16.9%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響額について提出日現在において適正かつ合理的に見積もることが未だ困難があります。そのため2021年5月期の連結業績予想については未定としており、今後、業績予想の開示が可能になった段階で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2020年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,053,713 | 2,908,657 |
| 売掛金 | 708,062 | 1,162,069 |
| 商品 | 76,419 | 110,367 |
| 貯蔵品 | 16,518 | 16,576 |
| その他 | 641,044 | 665,090 |
| 貸倒引当金 | △34,779 | △34,683 |
| 流動資産合計 | 6,460,979 | 4,828,079 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,035,509 | 6,904,819 |
| 土地 | 2,780,127 | 2,779,860 |
| リース資産(純額) | 1,573,728 | 1,986,262 |
| 建設仮勘定 | 5,331 | 18,437 |
| その他(純額) | 467,813 | 431,498 |
| 有形固定資産合計 | 11,862,510 | 12,120,879 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,802,351 | 1,727,345 |
| その他 | 285,245 | 301,498 |
| 無形固定資産合計 | 2,087,597 | 2,028,843 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 104,921 | 104,834 |
| 繰延税金資産 | 836,081 | 810,092 |
| 敷金及び保証金 | 1,527,256 | 1,546,617 |
| その他 | 169,415 | 174,983 |
| 貸倒引当金 | △1,671 | △1,638 |
| 投資その他の資産合計 | 2,636,003 | 2,634,889 |
| 固定資産合計 | 16,586,111 | 16,784,612 |
| 資産合計 | 23,047,090 | 21,612,692 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2020年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2020年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 89,343 | 137,297 |
| 短期借入金 | 4,759,869 | 3,300,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,546,970 | 1,554,104 |
| リース債務 | 75,595 | 76,090 |
| 未払金 | 758,309 | 889,964 |
| 未払法人税等 | 146,971 | 123,814 |
| 前受金 | 1,178,848 | 968,097 |
| 賞与引当金 | 105,448 | 269,163 |
| 資産除去債務 | 10,791 | 29,031 |
| その他 | 977,850 | 678,010 |
| 流動負債合計 | 9,649,998 | 8,025,573 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,558,895 | 4,440,496 |
| リース債務 | 1,717,483 | 2,138,618 |
| 退職給付に係る負債 | 1,794,772 | 1,795,575 |
| 役員退職慰労引当金 | 219,410 | 223,245 |
| 資産除去債務 | 355,836 | 348,280 |
| 繰延税金負債 | 906,613 | 887,083 |
| その他 | 100,405 | 102,981 |
| 固定負債合計 | 9,653,417 | 9,936,280 |
| 負債合計 | 19,303,416 | 17,961,854 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 327,893 | 327,893 |
| 資本剰余金 | 263,954 | 263,954 |
| 利益剰余金 | 3,804,902 | 3,728,696 |
| 自己株式 | △695,920 | △695,920 |
| 株主資本合計 | 3,700,829 | 3,624,623 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 30,058 | 30,020 |
| 為替換算調整勘定 | 63,119 | 43,185 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △50,332 | △46,991 |
| その他の包括利益累計額合計 | 42,844 | 26,215 |
| 純資産合計 | 3,743,674 | 3,650,838 |
| 負債純資産合計 | 23,047,090 | 21,612,692 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 5,830,110 | 5,784,123 |
| 売上原価 | 4,356,839 | 4,574,815 |
| 売上総利益 | 1,473,270 | 1,209,307 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,128,691 | 1,080,563 |
| 営業利益 | 344,578 | 128,744 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 902 | 489 |
| 受取配当金 | 1,083 | 941 |
| 為替差益 | — | 24,501 |
| 貸倒引当金戻入額 | 264 | 122 |
| 持分法による投資利益 | — | 1,382 |
| 助成金収入 | — | 36,200 |
| 補助金収入 | 31,988 | 43,829 |
| 雑収入 | 14,733 | 11,391 |
| 営業外収益合計 | 48,973 | 118,858 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 31,329 | 34,736 |
| 為替差損 | 8,682 | — |
| 持分法による投資損失 | 511 | — |
| 雑損失 | 321 | 2,650 |
| 営業外費用合計 | 40,844 | 37,386 |
| 経常利益 | 352,707 | 210,216 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 4,258 |
| 特別利益合計 | — | 4,258 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 5,995 | 23,131 |
| 固定資産除却損 | 55 | 10,540 |
| 賃貸借契約解約損 | — | 4,900 |
| 特別損失合計 | 6,050 | 38,571 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 346,656 | 175,903 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 103,967 | 96,961 |
| 法人税等調整額 | 64,045 | 5,038 |
| 法人税等合計 | 168,013 | 102,000 |
| 四半期純利益 | 178,643 | 73,903 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 178,643 | 73,903 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 178,643 | 73,903 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △6,045 | △37 |
| 為替換算調整勘定 | △248 | △19,692 |
| 退職給付に係る調整額 | 3,267 | 3,340 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 73 | △240 |
| その他の包括利益合計 | △2,953 | △16,629 |
| 四半期包括利益 | 175,690 | 57,273 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 175,690 | 57,273 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|---------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 学習塾事業 | 語学関連事業 | 保育・介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,057,178 | 817,818 | 1,954,870 | 5,829,867 | 242 | 5,830,110 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,057,178 | 817,818 | 1,954,870 | 5,829,867 | 242 | 5,830,110 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 778,670 | △88,656 | △1,367 | 688,646 | △344,068 | 344,578 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△344,068千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△380,100千円及びその他の調整額36,032千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 計 | 調整額 (注)1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 |
|-----------------------|-----------|----------|-----------|-----------|-------------|---------------------------|
| | 学習塾事業 | 語学関連事業 | 保育・介護事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,949,871 | 548,699 | 2,285,540 | 5,784,112 | 11 | 5,784,123 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 1,004 | — | 1,004 | △1,004 | — |
| 計 | 2,949,871 | 549,704 | 2,285,540 | 5,785,116 | △993 | 5,784,123 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 769,365 | △206,489 | △163,673 | 399,202 | △270,458 | 128,744 |

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,458千円には、各報告セグメントに配分されない全社費用△326,517千円及びその他の調整額56,058千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。